

2022年度 人間科学部カリキュラムマップ

(人間科学部CP2)
人間科学部の専門教育科目を以下の通り体系的に編成する。
□学位プログラム共通
・「基礎科目」
初年次で必ず履修する「基礎演習」や「キャンパス実習」によって学修の基本的なリテラシーと自主性と協調性を身に付ける。
・「基礎選択科目」
心理学／メディア・デザイン／スポーツ健康科学の3分野について、専門につなげる基礎的な科目を編成し、人間科学に関する幅広い知識を身に付ける。
・「専門実践演習科目」
所属する以下のコースの専門的な知識やスキルを座学だけではなく討論や実習、プレゼンテーションによる実践的な演習によって身に付ける。
・「コース専門科目」
以下の3コースで示す知識・能力を身に付けることができるように教育課程を編成する。

区分/CP	科目名	思考力	課題解決力	知識	技能	主体性	つながる力
A-1	人間関係の理論と実践		○			◎	○
	基礎演習Ⅰ	○				◎	○
	基礎演習Ⅱ	○	○			◎	
A-1合計		◎ ○	0 2	0 2	0 0	3 0	0 2
A-2	人間探究入門	○		○			○
	スポーツ健康科学概論	○		◎			
	メディア・デザイン入門	○					
	情報リテラシー実習	○		◎	○		
	心理学概論	○		○			
	臨床心理学概論	◎	○	○			
	健康と運動	○	○	◎		○	
	メディア論	○					
A-2合計		◎ ○	1 7	0 2	3 3	0 1	0 1
B-1現代心理学コース	臨床心理学実践演習(心理的アセスメント)	◎		○	○		
	臨床心理学実践演習(心理学的支援法)		◎		○	○	
B-1現代心理学コース合計		◎ ○	1 0	1 0	0 1	0 2	0 0
B-1メディア・デザインコース	メディアコンテンツ制作演習Ⅰ		○	○	◎		
	メディアコンテンツ制作演習Ⅱ		○	○	◎		
	映像コンテンツ制作演習Ⅰ	○	○	○	◎		
	映像コンテンツ制作演習Ⅱ	○	○	○	◎		
	マーケティング企画演習Ⅰ		◎		○		○
	マーケティング企画演習Ⅱ		◎		○		○
	コミュニケーション企画演習Ⅰ				◎		
	コミュニケーション企画演習Ⅱ						○
	時事問題研究演習Ⅰ	○	○			○	
	時事問題研究演習Ⅱ	○	○			○	
	ジャーナリズム研究演習Ⅰ	○	○			○	
	ジャーナリズム研究演習Ⅱ	○	○			○	
B-1メディア・デザインコース合計		◎ ○	0 6	2 8	0 4	5 2	0 4
B-1スポーツ健康コース	スポーツ健康実践演習Ⅰ	○	○			○	
	スポーツ健康実践演習Ⅱ	○	○			○	
B-1スポーツ健康コース合計		◎ ○	0 2	0 2	0 0	0 0	0 0
B-2現代心理学コース	公認心理師の職責	○	○	◎	○		
	心理学研究法	○	◎			○	
	心理学統計法Ⅰ		○	○	◎		
	心理学統計法Ⅱ		○	○	○		
	心理学実験Ⅰ	○	◎	○			
	心理学実験Ⅱ	○	◎	○			
	知覚・認知心理学	○	○	◎			
	学習・言語心理学	○	○	◎			
	感情・人格心理学	○		○			
	神経・生理心理学	○	○	◎			
	社会・集団・家族心理学		○	◎		○	
	発達心理学	○		◎			○
	障害者・障害児心理学	○		○		○	
	健康・医療心理学		○	◎			○
	福祉心理学	○		◎			○
	教育・学校心理学		○	◎		○	
	司法・犯罪心理学	○	○	◎			
	産業・組織心理学		○	◎			○
	人体の構造と機能及び疾病	○	○	◎			
	精神疾患とその治療	○	○	◎			
	関係行政論		○	◎			○
	心理演習Ⅰ		○				◎ ○
	心理演習Ⅱ		○				◎ ○
	心理実習Ⅰ		○			○	◎
	心理実習Ⅱ		◎			○ ○	○
	芸術療法	○				○	
	被害者・加害者の心理学	◎	○	○			
	ホリスティック心理学	◎	○	○			
	遊戯療法		○	○			◎
	集団精神療法	○					◎
	精神分析学入門	○			◎		○
	消費者心理学		○	◎			
	ジェンダーの心理学	◎	○	○			○
	人間のセクシャリティ			○			
	人間関係の心理学	○		◎			
	人として生きる倫理	○					◎
	対人社会心理学	○			◎		
	福祉心理学特殊講義(保育士)			○	○		◎
	臨床心理学特殊講義	○			◎		

大学の定める全学的な学位授与の方針に基づき、人間科学部が示す以下の知識や能力、姿勢を備えた者に学士(人間科学)を授与します。

人間科学部DP1	人間科学部DP2	人間科学部DP3
心理学、メディア・デザイン学およびスポーツ健康学の基礎を横断的に学び、さらには専攻した分野を専門的に学び実践的な思考力を身に付け、現代社会における諸問題を発見・予測し、その解決の道筋を立てることができる。	幅広い教養と心理学、メディア・デザイン学、スポーツ健康学から専攻した分野における専門的な知識と技能を身に付け、社会生活に役立てることができる。	職場・地域・家庭などさまざまな生活の場で人びとが直面している諸課題に積極的に関わり、社会や他者と主体的につながるができる。

区分/CP	科目名	思考力	課題解決力	知識	技能	主体性	つながる力
B-2現代心理学コース合計	◎	3	4	19	1	7	2
	○	21	24	12	5	7	12
B-2メディア・デザインコース □メディア・デザインコース 新しいメディア状況・社会状況の中で活躍していくため、メディア・デザインコースでは【コンテンツ制作系】、【企画プロデュース系】、【課題発見系】の三つの系の教育課程を編成している。また講義に加え、初年次から専門領域への導入部分をワークショップで体験しながら、メディアとデザインについての自身の関心や適性、将来の進路などを考えて、コンテンツ制作や社会調査・マーケティングについて実践的に学ぶワークショップ科目を編成している。	デザイン発想ワークショップⅠ	◎	○	○			
	デザイン発想ワークショップⅡ	◎	○	○			
	広告クリエイティブ・ワークショップⅠ		◎		○		○
	広告クリエイティブ・ワークショップⅡ		◎		○		○
	グラフィックデザイン・ワークショップⅠ		○	○	◎		
	グラフィックデザイン・ワークショップⅡ		○	○	◎		
	Webデザイン・ワークショップⅠ	○			◎		○
	Webデザイン・ワークショップⅡ	○			◎		○
	サウンドデザイン・ワークショップⅠ		○	◎	○		
	サウンドデザイン・ワークショップⅡ		○	○	◎		
	デザインとエスノグラフィー・ワークショップⅠ	○	◎			○	
	デザインとエスノグラフィー・ワークショップⅡ	○	◎			○	
	社会調査の読み方Ⅰ		○	◎	○		
	社会調査の読み方Ⅱ	○		◎	○		
	アンケート分析法		○	○	◎		
	質的データ分析ワークショップ	◎	○	○			
	広告戦略論	◎	○	○			
	総合デザイン論	○	◎	○			○
	コミュニケーション論			○			
	社会テーマデザイン論	○	○	○			
	競争と逸脱の社会学			○			
	消費者行動論		○	◎			
	映像メディア論	○	○	○			○
	ソーシャルメディアの社会学	○	○	○			
	メディアリテラシー論	○	○	◎			
	社会調査論Ⅰ			◎	○		○
	社会調査論Ⅱ	○		○	◎		
	広告クリエイティブ論	◎	○		○		
	デジタルマーケティング論	○		○		○	
	メディアアート論	○	○	○			○
	メディア産業論		○	◎			○
	情報行動論	○	○	○			
	消費社会論	○		○		○	
	ジャーナリズム論			○			
	文化表現論	○		◎			○
	観光サービス論		○				◎
	マスコミュニケーション論	○	○	◎			
	文化人類学	○		◎			○
	ポピュラーカルチャー論	○	○	○			
	メディア制度論	◎	○	○			
	Webデザイン基礎		○	◎	○		
	Webデザイン応用		○	◎		○	
	社会起業論		◎	○	○		
	メディア・デザインコース特殊講義	○		○			
B-2メディア・デザインコース合計	◎	6	6	12	7	0	1
	○	20	25	24	9	5	11
B-2スポーツ健康コース □スポーツ健康コース 深く人間の健康や運動・スポーツについて、社会や自然といった人間を取り巻く環境の中で「生きていく力」をより強固にすることを健康・スポーツの側面から支援するために、【ヘルスデザイン領域】、【スポーツコーチング領域】および【スポーツビジネス領域】の3領域から教育課程を編成している。	スポーツ実務実習a(企業PBL型)		○			○	○
	スポーツ心理学	○	○	◎			
	スポーツ生理学		○	◎	○		
	スポーツ社会学	○		○			
	こころとからだの発達	◎		○			○
	トレーニング概論			○			
	野外活動の理論と実際(野外キャンプ)		◎	○	○		
	野外活動の理論と実際(スノースポーツ)		◎	○	○		
	エアロビック運動の理論と実際(陸上運動)			○	○		
	健康とスポーツの理論と実際(水泳)			○	◎	○	
	健康とスポーツの理論と実際(陸上)		○	○		○	
	健康とスポーツの理論と実際(体操)			○	○		
	健康とスポーツの理論と実際(柔道)		◎	○	○		
	健康とスポーツの理論と実際(剣道)			○	○	○	○
	健康とスポーツの理論と実際(ハンドボール)				○		
	健康とスポーツの理論と実際(バスケットボール)			◎	○		
	健康とスポーツの理論と実際(バレーボール)		○		○	◎	
	健康とスポーツの理論と実際(サッカー)	○	○	○	○	◎	○
	健康とスポーツの理論と実際(ダンス)			○	○		
	スポーツ運動学	○	○	◎			
	スポーツ産業論	○		○			
	フィットネスの理論と実際	◎	○		○	○	
	保健体育科教育法Ⅰ	○	○	◎			
	保健体育科教育法Ⅱ	○	◎			○	
	保健体育科教育法Ⅲ	○		◎	○		
	保健体育科教育法Ⅳ	○		◎	○		
	保健体育科実践Ⅰ			○		◎	○
	保健体育科実践Ⅱ			○		◎	○
	スポーツ統計情報処理	○	○	○	○	○	○
	衛生・公衆衛生学	○	○	○		◎	○
	スポーツ医学	○		◎			○
	スポーツバイオメカニクス		○	◎			
	現代社会とエイジング	○		◎	○		
	スポーツ栄養学	○	○	◎			
	身体測定とデータ解析			○	○	○	
	運動処方	○		◎		○	
	生活習慣病と運動	○		◎	○		
	健康心理学		○			○	◎
	ヘルスプロモーション			○		○	
	コーチング論Ⅰ	○					
	コーチング論Ⅱ	○					
	トレーニング論			○			
	スポーツマネジメント	○		○		○	
	スポーツマーケティング	○		○		○	
	スポーツ政策論		◎	○			○

区分/CP	科目名	思考力	課題解決力	知識	技能	主体性	つながる力
	健康産業実習				○	○	○
	スポーツトレーナー実践	◎	○	○			
	学校保健	○	○	◎			
	スポーツ実務実習a(企業PBL型)		○			○	○
	地域スポーツ論		○		○		○
	スポーツイノベーション	○		○			
	スポーツツーリズム		○	○		○	
	スポーツファイナンス		○	○		○	
	アダプテッドスポーツ	○	○				○
	スポーツボランティア実習		○	○			○
	実技対策セミナー				◎	○	○
	スポーツ健康コース特殊講義		○		○	○	
B-2スポーツ健康コース合計		◎	3	5	14	2	5
		○	24	24	29	22	19
C-2	日本史概説	○	○	◎			
	西洋史概説	○	○	◎		○	○
	東洋史概説	○		○			◎
	法学概説	○		◎			○
	政治学概説	○		○		○	
	教育心理学概論	○		◎			○
	子どもの臨床心理学	○	○	○			
	教育相談の理論と方法		○	◎		○	
C-2合計		◎	0	0	5	0	1
		○	7	4	3	0	3
D	専門演習Ⅰ	○	○			◎	
	専門演習Ⅱ	○	○			◎	
	卒業研究	◎	○			○	
D合計		◎	1	0	0	2	0
		○	2	3	0	1	0
全体合計		◎	15	18	53	15	5
		○	91	94	76	41	43

これらの教育課程について、「大阪経済大学アセスメント・プラン」に基づき、様々な角度からの評価（試験・レポート、小テスト、外部アセスメントテスト等）をすることにより学修成果を把握します。

また、教育課程における各授業科目については、シラバスに到達目標を定めどのように評価するかを記載することで質を保証するとともに、教育課程全体の評価・検証の状況を把

